

法科大学院を中核とする法曹養成制度の 見直しについての申し入れ【緊急】

司法制度改革の一環として新しい法曹養成制度が議論されてから八年、また法科大学院が設立されてから四年が経った。大きな期待を集めて船出をした新しい制度だが、見過ごすことができない問題点が明らかになっており、真摯かつ迅速な見直しが必要である。平成18年12月の小委員会とりまとめ「新たな法曹養成制度の理念の実現のために」においても、「文科省、法務省、最高裁や日弁連、法科大学院の連携で総合的にそれぞれの成績相互の関連性を実証的かつ効果的に検証し、基づく改善策を検討し実行する体制を直ちに作るべき」とされている。

そこで私たち有志一同は、法曹養成制度について緊急に行うべき見直しについて、以下の問題点と提言につき、申し入れをする。

問題点

1. 設立の理念が実現できていない法科大学院
 - ・ 玉石混交な教育の実態、甘い成績評価と修了認定。
 - ・ 困難になる一方の教員の確保と養成。
2. ひとり歩きする司法試験合格者数の数値目標
 - ・ 質が確保できないで量の拡大を図ることを国民は望んでいるのか。
 - ・ 「ノキ弁」「即独(そくどく)」等の言葉に象徴される新人弁護士の生活ぶりは、既に弁護士の供給過剰を示す。
3. 不透明な「合格者数三千人」決定の経緯と根拠
 - ・ 平成十二年夏の司法制度改革審議会の議論では大勢を占めていなかった「三千人論」。
4. 「格差」を象徴する法科大学院生の経済的負担
 - ・ 数百万円に上る授業料、数年間の生活費、さらには本来勤務していたら得られたはずの逸失利益も含め、その差は膨大なものである。

5. 信用できない第三者評価

- ・ 複数の機関が評価をすることへの疑義と、ばらつきのある評価基準。
- ・ 法科大学院関係者の相互評価では厳しい評価は困難。
- ・ 実質的な教育内容を評価できておらず、実効性がない。

6. 法曹需要の「拡大」とはなにか

- ・ 司法書士、行政書士、税理士、弁理士、社会保険労務士、土地家屋調査士等、隣接士業との連携と分担という日本独自の制度をないがしろにするもの。
- ・ これまで法曹に頼らずに問題を解決してきた日本社会の良識と仕組みを壊していくことを、需要の拡大と表現するのか。

提言

1. 新司法試験受験資格の見直し

- ・ 法科大学院修了者に限定されている現在の新司法制度の受験資格のあり方を根本的に見直すこととする。受験資格を制限する以上は、法科大学院には旧制度と比べて絶対の法曹養成結果を出すことが求められているにもかかわらず、その重い責任を自覚して、法科大学院が設置認可されたとは思えない状況である。よって、新司法試験の受験資格を一旦は法科大学院修了者以外の者にも開放したうえで、法科大学院修了者とそれ以外の者を司法修習過程において慎重に比較することにより、受験資格を法科大学院修了者に制限するべきかどうかの検討を行う。あわせて、受験資格の見直しにより、法科大学院の改革への自助努力を促す。

2. 司法試験合格者数の見直し

- ・ 受験資格の見直しを行うまでの間、司法試験合格者数を、平成十四年の閣議決定で「所要の措置を講ずる」とされた1,200人～1,500人程度とし、合格者の能力低下がみられないかを慎重に判断する。司法制度改革の真の目的は、国民に良質な法的サービスを提供し、よりよい社会を作ることであり、人数はその目的を達成するための手段に過ぎない。合格者の人数あわせで、手段と目的が履き違えられることがあってはならない。司法試験とは、法曹となる能力があるか否かを判別する試験でなければならない。それに相応しい能力の人が少なければ、前掲の概数を超える必要は、元よりない。

3. 司法制度改革の検証

- ・ 改革とは、よりよい社会を実現するための手段にすぎず、それ自体が目的ではない。改革自体を目的化することは本末転倒である。よって、制度を考案した時点では想像できなかった問題点が、運用が始まってから判明した際に

は、それらを率直に見つめ、対処し、見直しを常に行っていくことは当然の義務である。新しい制度を見直すことを、「司法制度改革の後退」などと評することこそが、真の改革にはなじまないことである。本来は、法科大学院とはよりよい法曹を養成する手段として設立されたにもかかわらず、現状では法科大学院を存続させること自体が司法制度改革の目的化されてしまっていることは誠にもって嘆かわしい。いまこそ、冷静に司法制度改革の検証を始めるべきである。事は一刻を争う大事である。

平成20年5月28日

法曹のあり方を考える若手国会議員の会

座長 武藤 容治

事務局 橋本 岳

赤澤 亮正

新井 悦二

大塚 高司

岡田 直樹

鍵田 忠兵衛

亀岡 偉民

北村 茂男

木原 稔

藺浦 健太郎

塚田 一郎

土井 亨

とかしき なおみ

長島 忠美

西田 昌司

西本 勝子

丹羽 秀樹

松本 洋平

馬渡 龍治

安井 潤一郎

矢野 隆司